

OK 部門・FS-125CIK 部門 エンジン回転数測定器の運用及び装着要領

2023年全日本カート選手権 統一規則第21条5項に基づき、エンジン回転数測定器を公式練習から装着すること。測定器の配布および回収、装着要領は下記のとおりとする。

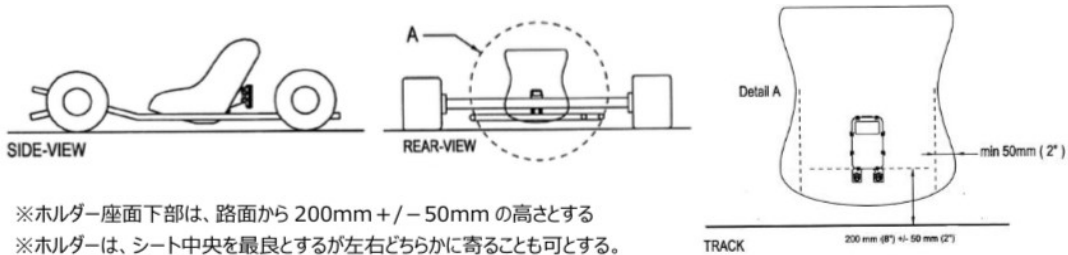
1. 測定器の運用方法

- 1) タイヤ配布時に回転計ホルダー・測定器本体を渡します。
- 2) 公式練習から装着して走行してください。
- 3) 決勝ヒート終了後に、車検場にて測定器及びホルダーの回収を行う。

時間	内容
8月19日(日)タイヤ配布時	ケーブル、ブラケット、本体を配布
8月19日(日)決勝ヒート終了後	ケーブル、ブラケット、本体を回収

2. ホルダーのシートへの装着(OK 部門用 AMB 測定器)

- 1) 以下に従いホルダー装着箇所的位置を決める。ホルダー座面は路面に対して垂直に近い角度とする。場合によってはスペーサー等を用いて角度を調整する。クロスメンバー等がホルダーの下方に位置すると電波が干渉して正確な測定が出来ないため、留意すること。



※ホルダー座面下部は、路面から 200mm +/- 50mm の高さとする
 ※ホルダーは、シート中央を最良とするが左右どちらかに寄ることも可とする。

- 2) ホルダーの装着箇所を決めてから、ホルダーの3つの穴に合わせてシートに3箇所穴(直径約 5mm)を開け、タイラップコードにてホルダーをシートに強固に固定する。※ネジ、ボルト、ナットは使用せずタイラップコードを使用すること。

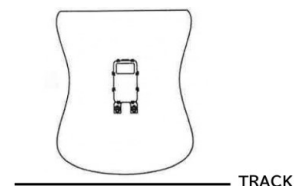
3. エンジン測定器のホルダーへの装着

- 1) 右図が表側に、また右図の矢印下方が路面となるように測定器をホルダーにタイラップコード2本で装着する。
- 2) 検地コード先端をプラグコードにタイラップ2本で強固に取付。
 ※検知コードの取り回しに留意すること。取り回しの状況によりタイラップコードを用いてコードの遊びをなくすこと。
 ※ビニールテープは使用しないこと。



4. エンジン測定器のホルダーへの装着(FS-125CIK 部門用 OPPAMA 測定器)

- 1) 表示面が表側となるように測定器をホルダーにタイラップコードを2本で装着する。
 ※表示面の MODE 部分および SET 部分を操作しないように留意すること。
 誤って操作した場合には必ず技術委員長に申し出ること。
 申し出が無い場合、ペナルティが課せられる場合がある。
- 2) 検地コード先端をプラグコードにタイラップ2本で装着する。
 ※検地コードとプラグコードは連続して約 20mm 接触すること。
 ※ビニールテープは使用しないこと。



以上